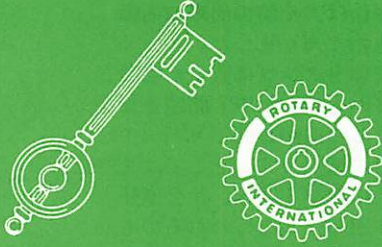


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 菊池昭元

No. 28 (1985~86)

あなたが 鍵です
You are the Key

1985~86年度
RI会長 エドワード F. カドマン

第173回例会 昭和61年1月14日(火) 晴

◇“我等の生業”

◇出席報告

会員 57(56)名 出席 40名
出席率 71.43%
前回 1月7日(修正出席率)98.18%

◇ビジター紹介 9名

◇お誕生日祝福

加藤(敏)君(1/16)

◇ニコボックス

水野 民也君 「月刊なごや」に出てしまいました。掲載料として。

三輪 康君 ゴルフ会優勝しました。パートナーに感謝します。

黒須 一夫君 年末年始にかけてモロッコ、スペイン、ポルトガルを回ってきました。ウイーンでは少し恐かったです。

加藤 敏昌君 良きパートナーに恵まれて鶴匠がゴルフで優勝しました。鶴も頑張ります。お誕生日祝い。

安藤 銀之助君 永らく失礼しました。又、ぼつぼつ出席します。

竹内 真三君 本日スピーカー相勤めます。失言あればお許しを。

加藤 大豊君 新美敢さん、先日の御災難お見舞い申し上げます。古川勝巳さん、先日は有り難うございました。

菅原 宣彦君、鷲野 義明君、谷口 暢宏君、西村 禎二君 結婚記念日祝い。

◇秋山副会長報告

1. 本日例会終了後、次年度理事役員会と親睦活動委員会を開催致しますので、次年度理事役員の方は2F橋の間に、親睦活動委員の方は1F葵の間にお集まり下さい。

2. ロータリーの友1月号が来ておりますので、お帰りにお持ち下さい。

◇深見国際奉仕委員長報告

ロータリー財団奨学生選考委員の末席の一

員として選考に関与しました。'86-'87年度はこれまでと違い、極めて多数の青年が留学できるようになりました。69名の受験者の中から17名が選出され、今年の9月以後に各国で1年間の留学生活をすることになります。派遣奨学生としてはこれからは17名位の規模で推移する予定です。各ロータリアンのお知り合いで留学希望の方がおられましたら、積極的に御推薦いただければ幸いです。

◇菊池会長挨拶

寒に入った日本列島の寒さも一番厳しい時期を迎え、目に触れるもの総てが寒々しさを与える中、寒椿だけが赤い花を着け目を楽しませてくれます。寒いと言えば日本での最低気温は明治35年1月25日に旭川で氷点下41度、北半球では14年前シベリア・モア地区の氷点下72度、更に世界では昭和35年南極ツ連基地で計測した氷点下88.3度が記録されています。南極は氷と雪に覆われた広大な大陸であり、そして一番恐いのは空が曇って白っぽく天地白一色となった時に方向感覚を失う「ホワイトアウト」現象であると言われます。6年前ニュージーランドの作家の「死の南極遊覧飛行」は、この現象によったものであります。話は変わって各種スポーツの盛んな今日、マラソンコースの距離はなぜ42.195キロなのか。マラソンは古代ギリシャの故事(アテネの勝利をマラトンの丘からアテネまで走って知らせた伝令、フェイデイビデス)にちなんで生まれたスポーツと言われて居り、近代オリンピックの形成が整って来た1908年、第4回ロンドン大会のコースがたまたま42.195キロであったのを基に、1924年第8回パリオリンピックの時から正式に現在の42.195キロに定められたものです。そのマラソンコースの測定は太さ4m、長さ50mのワイヤー巻尺で50mづつ843回と45mを測るのが一応の規

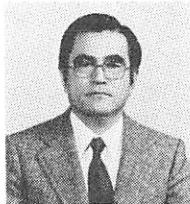
則になっています。そしてもう一つ、競馬の正式なタイムと距離は何処から計るのか御存知でしょうか。赤い旗が振りおろされゲートがサッと開き、馬が一斉にスタートした時からタイムを計られると思われませんが、実際はスターティングゲートから5m程先に探知機があり、先頭の馬がこの前を通りかかった瞬間、自動的に時計が作動してタイムを計り始める訳で、距離も当然ここから測る事になります。又、競馬にはなぜナイターがないのか。それは、競馬法施行令第4条で「競馬は日の出から日没迄の間に行わなければならない」と定められて居るからです。

次に去る8日には千種警察署警察初め式が、12日には消防関係者2,884名参加する中、名古屋市消防出初め式が行われました。警察、消防の各署では、共に名古屋市民211万人の生命、財産の保護と安全、そして住み良い名古屋市建設の為、力強く輝かしい幕明けを致しました。吾々もロータリアンとして出来る限りの協力を致したいと思ひます。本日はいろいろ取り止めのないお話しとなりましたが、挨拶とさせていただきます。

◇ 講演

“無 題”

会員 竹内 真三 君



瓢箪から駒の形で2代目の会長を務め終えさせて頂いてから、早や1年半になりました。当クラブは水野創立会長と鈴木当館館長の他は当然会員新人とい

う事で発足し、当分は、新人ばかりが摸索を続けながらクラブ運営を行う形でありましたが、唯代を重ねる毎に前事の良き轍は踏襲し不都合な轍は踏まざらん様に、他クラブのやり方を勉強して他山の石として当クラブの運営に資し、年を経るに従い、クラブの内容も落ち着いたものになって参りました。

今日は第2回目のイニシエーション・スピーチのつもりで、あれこれ申しあげようと思っております。

ロータリアンは、その成立以来一貫して職業奉仕を重んじ、職業に関しての徳義の向上をモットーとしてきています。然し、長い歴史の中では社会奉仕についても種々の変遷を余儀なくされています。ロータリークラブは社会の日蔭的存在であるとか所得弱者救済である等と、恰かも慈善団体であるかの如き風潮となって問題になった時期もあります。事実一業一人制は職業を通じての奉仕によるのみ意義があると考える人は、“社会奉仕の項を綱領から削除すべし”と主張され、その一方では、ロータリーの奉仕の理想を実現する

為の手段として、社会に存在を認めてもらうには、“社会奉仕は欠く事の出来ぬ活動である”との主張も強くありました。

更に社会奉仕の主体をクラブに置くか会員の個々の活動に任すかといった事も問題となり、その結果できましたのが1923年セントルイスの大会での「34号決議」です。そこではまずロータリーの奉仕の哲学を述べ、社会奉仕活動が個人に限らず団体として行われるのも望ましいと述べております。その実施に当たっては地域社会のニーズを慎重に調査し、地域の機関や施設の活動を強化し協力する事でその奉仕を遂行される事が望ましい……というものです。当クラブが従来より社会奉仕に対し活発に活動している所以もそこにあり、今后共勇気を振って実施して頂きたいものです。

次に米山梅吉の言葉を伝えますと「ロータリアンには3つの不平がある。その一つは会合に魅力がなく、一向つまらぬと出して出席しない人。第2はロータリーの活動においても社会的、政治的にも口を出すべきだという人。第3はロータリーは何処へゆくかと悲感する人であるが、ロータリーは見えない処に仕事があり目立たぬ処に味がある。」と申しております。一代の皮肉屋バーナード・ショーは「ロータリー何処へ、昼食へ」と揶揄したそうではありますが、例会出席のみで万事足れりとなりますと、ロータリーが小金持の昼食会になりかねませんので心すべきであります。

歴代会長の中で1971~72のR I 会長を務めたスウェーデンのブライトホルツ会長のターゲット“Good Will Begins With You”（善意はまずあなたから）の解説の中で、「善意のないロータリークラブは、唯の社交クラブではないか。職業奉仕とはいっても金儲けでしかなく、社会奉仕といっても弱者に対する施しではないか。又、国際奉仕といっても国家間の外交と何等の違いもあるまい。」と述べて居られ、私共が良かれと思って色々やっております時に陥り勝ちの欠陥を親切に指摘され、私はこの言葉が好きで時々自戒の意味で味わっております。

最後に私なりのロータリアンとしての考えを申し上げます。間違っていたら御指導を頂きたいのですが、それは“ロータリアンはその存在そのものに意味があり、優良なるロータリアンが数増す程に、社会の安定と秩序の確立とに寄与するからである”と確信しております。

尽きることなき誇りの源泉

職業奉仕は、あなたの職業分類を維持・継続するものであります。すなわち、職業分類が初めてあなたに貸与された日と同じ健やかな状態に保っておく手段であります。その日

にどのように誇りに思ったか覚えていますか？あなたの職業分類が絶えざる誇りの源泉であることは職業奉仕を通じて必ず確信できます。

息抜きに肩の凝らない言葉

私は自分のことをよく引き合いに出します；これで私の会話は無味乾燥でなくなります。

— ジョージ・バーナード・ショウ
(情報抄録より)

'84-'85年度の

ロータリー財団に対する支援記録

昨年度、ポール・ハリス・フェロー(18,983人)が記録的に誕生したことが力となり、財団は、最高水準の年間寄付額—米貨24,863,396ドルを達成しました。

	1984-85年度 寄付額	1983-84年度比 増加率
年次	US\$ 24,811,864	10.9パーセント
基金	324,722	932.7パーセント
ポリオ・プラス	227,310	初年度
	US\$ 24,863,396	13.3パーセント増

世界的な平価切り下げの悪影響もありましたが、このような素晴らしい支援のおかげで、財団は、国際理解と平和と親善を育成する教育的、人道的プログラムの資金を調達することができたのです。1984-85年度中、65カ国の870人の奨学生が、56カ国220ロータリー地区で勉強しました。記録的な23件の保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)補助金が承認され、111件の特別補助金が授与され、153の研究グループ交換チームが海外に旅行しました。

寄付して下さった方全員に心から感謝します！皆さまの惜しみない支援によって、世界理解と平和は実現可能な目標に1歩近づいています。(R.I.ニュースより)

R.I.と財団、健全な財政状態で

1984-85年度を終える

本R.I.ニュースに、1985年6月30日に終わる会計年度の国際ロータリーとR.I.のロータリー財団の監査報告(要約)を同封します。総支出額は、R.I.の場合、予算内に収まり、財団の場合、ほぼ予算内に収まっています。この好成绩の要因は、主として、経費節減努力、財務管理の向上、全体的生産性の増大、米ドルの継続的強さであります。

R.I.の場合、収入が支出を上回った額は、1983-84年度の米貨5,398,186ドルに比べ、6,029,271ドルであります。このような財政的蓄えがあるため、1986年2月に開かれる規定審議会で、人頭分担金増額の提案を提出しないですみました。インフレが続いていますが、少なくとも1990年までは人頭分担金は現在の額のままであります。R.I.の資金残高は、1984-85年度に米貨25,068,341ドルから米貨31,097,612ドルに増えました。予備資金

を一般運営費の100パーセントに伸ばそうという理事会の目標は達成されました。

T.R.F.については、1984-85会計年度の寄付は、13.3パーセント増え、史上最高の米貨24,863,396ドルとなりました(本ニュース3ページの関係記事を参照のこと)。総額8,114,096ドルに上る他の財団収入はすべて投資収益と配当です。資金残高総額は1,700万ドル増え、1985年6月30日に92,453,999ドルに達しました。これには、残額4,306,110ドルの75周年基金は含まれていません。

国際ロータリーとロータリー財団の投資は、R.I.理事会と財団委員会がそれぞれ決めた方針と指針に従って、投資専門のマネージャーが行っています。

両組織とも1984-85年度に史上最高の記録的な成果を上げました。(R.I.ニュースより)

◇ガバナー・ノミニエ事務所開設のご案内

開設日 昭和60年12月3日(火)
 名称 国際ロータリー第260地区
 所在地 ガバナー・ノミニエ事務所
 〒380 長野市県町576
 TEL ホテル長野国際会館内
 0262-34-3435(直通)
 FAX 0262-33-3655
 事務所 10:00~16:00(土、日、祭は休み)
 地区幹事 宮本 肇
 地区副幹事 矢島 一、鹿熊 肇、春日英廣
 地区会計長 小野 由隆
 事務局員 古田 栄子
 尚、昭和61年7月1日より上記事務所が国際ロータリー第260地区ガバナー事務所となるので、ご了承下さい。

第34回ゴルフ会成績

(多治見CC 1/9(休))

RANK	NAME	OUT	IN	G	H'cp	NET
優勝	三輪 康	47	48	95	22	73
準優勝	谷口 暢宏	51	42	93	18	75
3位	菅原 宣彦	47	48	95	20	75
4位	青山 敏郎	49	50	99	22	77
5位	永井 正義	47	44	91	11	80
B B	松居 敬二	47	51	98	8	90

(参加者 名)

第12回夫人ゴルフ会成績

RANK	NAME	OUT	IN	G	H'cp	NET
優勝	加藤 恭子	67	73	140	65	75
2位	竹内 逸子	62	59	121	42	79
3位	谷口 尚子	62	59	121	41	80

※次回のゴルフ会は、3月13日(休)和合CCで行いますので、奮ってご参加下さい。

◇次回例会(1月21日)

講演 “ロータリー雑感”

会員 水野 民也 君

◇次々回例会(1月28日)

講演 “区政雑観”

千種区区长 杉山 文雄 氏

(紹介 菊池君)

'85 - '86 年度上半期例会出席率(個人)

(27 meetings)

会 員 名	ホーム クラブ	他 ク ラ ブ	欠 席	合 計	ホーム クラブ 率 %	出 席 率 %	会 員 名	ホーム クラブ	他 ク ラ ブ	欠 席	合 計	ホーム クラブ 率 %	出 席 率 %
秋 山 茂 則	26	2	0	28	96	104	宮 尾 紘 司	25	6	0	31	98	115
青 山 敏 郎	17	11	0	28	63	104	水 野 民 也	19	12	0	31	70	115
※安 藤 振之助	7	6	14	13	26	48	水 野 賀 統	15	12	0	27	56	100
浅 井 誠 寿	24	3	0	27	89	100	永 井 正 義	18	10	0	28	67	104
深 見 章	23	6	0	29	85	107	成 田 浪 治	23	5	0	28	85	104
古 川 勝 巳	9	10	8	19	33	70	新 美 敢	20	7	0	27	74	100
原 富 士 雄	13	14	0	27	48	100	西 川 豊 長	23	4	0	27	85	100
※橋 本 義 郎	0	1	26	1	0	4	西 村 禎 二	21	7	0	28	78	104
林 淳 三	16	11	0	27	59	100	野 村 義 雄	18	7	2	25	67	98
堀 場 利 幹	23	5	0	28	85	104	大 口 弘 和	22	6	0	28	81	104
堀 江 宏 輝	15	13	0	28	56	104	太 田 茂	24	4	0	28	89	104
池 田 隆	23	5	0	28	85	104	大 谷 和 雄	19	8	0	27	70	100
石 田 耕 嗣	20	9	0	29	74	107	尾 関 武 弘	26	2	0	28	96	104
※加 藤 正 義	11	7	11	18	41	67	斉 藤 康 二	4	21	2	25	15	98
加 藤 大 豊	25	3	0	28	93	104	佐 野 寛	26	1	0	27	96	100
加 藤 敏 昌	22	5	0	27	81	100	笹 野 義 春	12	15	0	27	44	100
河 合 美 雄	16	11	0	27	59	100	菅 原 宣 彦	13	26	0	39	48	144
菊 池 昭 元	27	3	0	30	100	111	杉 山 貞 男	22	5	0	27	81	100
木 全 昭 二	21	6	0	27	78	100	鈴 木 正 男	13	13	1	26	48	96
小 林 明	18	3	0	21	67	(100) 78	鈴 木 猛	16	12	0	28	59	104
小 池 宗	17	10	0	27	63	100	武 内 清	21	7	0	28	78	104
小坂井 盛 雄	25	1	1	26	93	96	竹 内 真 三	27	0	0	27	100	100
久保田 皓	20	7	0	27	74	100	谷 口 暢 宏	18	9	0	27	67	100
黒 野 貞 夫	13	16	1	29	48	107	寺 沢 竹三郎	22	6	0	28	81	100
黒 須 一 夫	23	4	0	27	85	100	手 島 茂 明	19	8	0	27	70	100
松 藤 国 弘	15	12	0	27	56	100	和 田 正 敏	25	3	0	28	93	100
松 居 敬 二	15	12	0	27	56	100	鷺 野 義 明	24	4	0	28	89	104
三 輪 康	21	8	0	29	78	107	矢 野 勝 久	23	4	0	27	85	100

注) (): 中途入会者の実質出席率

※: 長期欠席者